

千倉地区学校再編に関する保護者説明会（意見交換会） 4会場 会議録

会 場

○千倉七浦体育館 令和 3 年 12 月 9 日(木) 午後 7 時から午後 7 時 40 分まで

【当日参加者】 千倉地区学校再編検討委員会委員 16 名出席 (3 名欠席)
オブザーバー 4 名出席 (2 名欠席)
参加保護者 10 名
事 務 局 13 名出席 (欠席なし)

○千倉忽戸体育館 令和 3 年 12 月 14 日(火) 午後 7 時から午後 7 時 30 分まで

【当日参加者】 千倉地区学校再編検討委員会委員 16 名出席 (3 名欠席)
オブザーバー 3 名出席 (3 名欠席)
参加保護者 3 名
事 務 局 13 名出席 (欠席なし)

○千倉子ども園体育館 令和 3 年 12 月 15 日(木) 午後 7 時から午後 7 時 30 分まで

【当日参加者】 千倉地区学校再編検討委員会委員 16 名出席 (3 名欠席)
オブザーバー 3 名出席 (3 名欠席)
参加保護者 6 名
事 務 局 13 名出席 (欠席なし)

○千倉小学校体育館 令和 3 年 12 月 20 日(月) 午後 7 時から午後 7 時 30 分まで

【当日参加者】 千倉地区学校再編検討委員会委員 17 名出席 (2 名欠席)
オブザーバー 1 名出席 (5 名欠席)
参加保護者 20 名
事 務 局 13 名出席 (欠席なし)

次 第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 委員等紹介
- 5 説明
 - (1) 千倉地区の中学校再編について
 - (2) 千倉地区の中学校の現状について
- 6 質疑・意見交換
- 7 閉会

※1 開会～5 説明まで及び7 閉会は、各会場ほとんど変わらないため、千倉小学校体育館で行った会議の会議録を使用する。

1 開会（千倉小学校体育館の会議録より）

進行 皆さん、こんばんは。まだ、お見えになられていない方も多数いらっしゃるかと思いますが、定刻になりましたので、大変申し訳ございませんが、説明会の方を始めさせていただきますと思います。

本日は、大変お忙しい中、お集まりをいただき誠にありがとうございます。本日の千倉地区学校再編に関する保護者説明会（意見交換会）の進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局 教育総務課 学校再編整備室の石川と申します。

よろしくお願いたします。

会議に入る前に、お手元に配布してございます、資料の確認をお願いします。

まず始めに、表面が会議次第で、裏面が令和3年度千倉地区学校再編検討委員会委員名簿となっているもの。

続いて、ホチキスで綴じてある、レジメですが、資料1、千倉地区の中学校再編が、A4片面印刷が1枚もの。

資料2、南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込（白浜地区・千倉地区）が、A3片面印刷が1枚もの。

資料3、表面が「南房総市立小学校児童数推移見込み」で、裏面が「南房総市立中学校生徒数推移見込み」となっている、A3両面印刷が1枚もの。配布資料は、以上となりますのでご確認ください。

不足等がございましたら、手を挙げていただけますか。

よろしいでしょうか。

それでは、ただいまから、千倉地区学校再編に関する保護者説明（意見交換会）を開会いたします。

次第に沿って、進めさせていただきます。

2 委員長挨拶（千倉小学校体育館の会議録より）

進行 それでは、次第の2、委員長挨拶。

千倉地区学校再編検討委員会、鈴木委員長、お願いたします。

委員長 皆さん、こんばんは。ただいまご紹介にあずかりました、旧朝夷学区の鈴木利輝と申します。よろしくお願いたします。

年の瀬を迎えて、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私ども、千倉地区学校再編検討委員会の委員は、千倉中学校の再編に関し、意見を取りまとめ、手続きを踏んで、結果を市に進言するということを仰せつかっております。

す。

そのため、教育委員会からこの件について先行しております、白浜地区の学校再編検討委員会の状況、それから、後ほど説明いたします、千倉中学校の中期的な生徒の増減数等、こう言った意見に基づきまして、意見交換し、将来に向け、子どもたちを取り巻く様々な環境を保持し、向上させるため、今どういう選択をするのがよいか、コロナ過をくぐり抜けまして、都合3回の会議を開いてきたわけでございます。

今回、後ほど説明いたします、一定の方向付けを取りまとめましたので、保護者の皆様方に、まず、それをお示しし、ご意見を伺った上で、改めて、私ども千倉地区学校再編検討委員会で、協議採決して、これから白浜地区との合同会議に臨む考えでありますので、今日は、忌憚の無いご意見を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

進行 ありがとうございます。

続きまして、第の3、教育長挨拶。

三幣教育長から挨拶を申し上げます。

3 教育長挨拶（千倉小学校体育館の会議録より）

教育長 改めまして、こんばんは。保護者の皆様には、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

また千倉地区学校再編検討委員会の委員の皆様、今日で4回目ということですが、大変ありがとうございます。

この保護者説明会の主旨は、今、鈴木委員長がおっしゃったとおりでありまして、千倉地区学校再編検討委員会で結論を出すために、七浦、忽戸、朝夷、本日の健田地区ということで、4回目の説明会で皆様方のご意見、あるいは、ご質問をいただいて、再編検討委員会の皆様方が、それを参考にしまして、再編検討委員会として最終的な結論を出すということになっておりますので、どうか不安な点、あるいは不明な点、あるいは、皆様方自身のご意見等、遠慮なくいただければと思っております。

どうかよろしくお願いいたします。

4 委員等紹介（千倉小学校体育館の会議録より）

進行 続きまして、次第の4、委員等紹介に移ります。

令和3年度 千倉地区学校再編検討委員会委員をご紹介します。

次第の裏面の、名簿をご覧ください。

まず、左の欄をご覧くださいと思います。

<千倉地区学校再編検討委員会委員紹介>

次に、名簿、右の欄をご覧ください。

オブザーバーとして御臨席いただいております、千倉地区の市議会議員6名の皆

様方をご紹介いたします。

<オブザーバー紹介>

進行 次に、事務局をご紹介させていただきます。

名簿の右下の欄をご覧ください。

<事務局紹介>

以上で本日の出席者の紹介を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

進行 続きまして、次第の5、説明に移ります。

ここからは、鈴木委員長に、進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

5 説明（千倉小学校体育館の会議録より）

委員長 はい、それでは、ご指名により、暫時、進行を務めさせていただきます。

それでは、次第の5の説明に入ります。なお、「(1) 千倉地区の中学校再編について、(2) 千倉地区の中学校の現状について」は、関連しておりますので、一括して事務局から説明をさせますので、ご了承ください。

それでは、事務局の説明を求めます。

事務局 始めに、「(1) 千倉地区の中学校再編について」を説明します。

資料1の「千倉地区の中学校再編」をご覧ください。

1番の「千倉地区学校再編検討委員会としての方向性」ですが、市教育委員会は、「千倉地区の中学校再編について」、千倉地区学校再編検討委員会へ協議・検討をお願いしました。

既に、房日新聞等でご覧いただいている方もいらっしゃるかと存じますが、3回の千倉地区学校再編検討委員会会議を経て、「千倉中学校と白浜中学校の両校を統合させる。」という方向性を決定いたしました。

次に、2番の「白浜中学校との統合の理由」でございます。

ア、生徒数や学級数を見ると、千倉中学校は、現在、一年生が3クラス編制で、二年生、三年生は2クラス編制となっている。

また、令和4年度からは各学年が2クラス編制となり、令和5年度からは、生徒数も200人を割り込む推移見込みとなる。

しかし、中学校を統合することにより、生徒数が200人台となり、令和5年度～令和7年度は、3クラス編制が可能な学年ができる。

イ、生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考える。

ウ、学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供で

きるようになる。

エ、統合することによって充実した部活動が実施できる。

オ、統合中学校の校舎を、それぞれの現在の中学校のどちらかを使用した場合、千倉・白浜両地区の遠方からでもスクールバスで30分程度の通学が可能である。

以上が、白浜中学校との統合の理由でございます。

次に、3番の「学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について」ですが、学校の再編時期、位置、名称に関する事項は、条例、規則等の改正を伴う基本的合意事項となります。

この基本的合意事項である3項目につきましては、保護者説明会や地区説明会で意見交換会を実施し、千倉地区学校再編検討委員会の最終的な方針決定を受け、千倉地区及び白浜地区学校再編検討委員会の合同会議で協議・検討することになります。

以上です。

事務局 次に、「(2) 千倉地区の中学校の現状について」を説明します。

資料2の「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込み(白浜地区・千倉地区)」をご覧ください。

この表は、令和3年5月1日現在の学校基本調査及び住民基本台帳を基に作成したものとなっています。

白浜中学校の「生徒数計」の欄をご覧ください。

令和3年度が58人です。

令和4年度が61人、令和5年度が57人、令和6年度が55人となり、今後も生徒数が減少し、令和15年度には、29人になることが見込まれます。

次に、白浜中学校の「通常学級数(弾力)」の欄をご覧ください。

白浜中学校は、現在、各学年1クラスですが、この状況は、今後も続くことが見込まれます。

次に、千倉中学校の「生徒数計」の欄をご覧ください。

令和3年度が196人です。

令和4年度が202人、令和5年度が192人となり、千倉中学校も生徒数が減少し、令和15年度には、87人になることが見込まれます。

次に、千倉中学校の「通常学級数(弾力)」の欄をご覧ください。

千倉中学校は、令和3年度の1年生は3クラスですが、その後は、各学年2クラスとなり、令和13年度には、1年生が1クラスとなり、令和15年度は、各学年1クラスになることが見込まれます。

次に、「統合した場合」の欄をご覧ください。

千倉中学校と白浜中学校が統合した場合の生徒数、クラス数の見込みとなります。

統合した場合の「通常学級数(弾力)」の欄をご覧ください。

年度によって変わってきますが、令和7年度までは、3クラス編制の学年が存在し、

令和8年度から令和14年度までは、各学年2クラス編制が可能となります。

次に「教員の配置数」ですが、表の右下の欄の「令和3年度 教員の配置数」をご覧ください。

白浜中学校の教員の配置数ですが、現在の白浜中学校の正規の教員は、10人です。次に、千倉中学校の教員の配置数ですが、現在の千倉中学校の正規の教員は、14人です。

「統合した場合」の欄の令和3年度の「正規の教員数」をご覧ください。

令和3年度の「正規の教員数」は、19名となり、白浜中学校の正規の教員数は、10名ですので9名の増員となり、千倉中学校の正規の教員数は、14名ですので5名の増員となります。

このように、統合した場合は、教員の確保、増員が見込まれます。

次に、資料3をご覧ください。参考資料としまして、表面が、南房総市立小学校児童数 推移見込み(令和3年度～令和9年度)、裏面が、南房総市立中学校生徒数 推移見込み(令和3年度～令和15年度)となっております。

以上で説明を終わります。

委員長 はい、説明が終わりました。

6 意見交換(質疑応答)について

これより、次第の6、質疑、意見交換に移りたいと思います。

ご質問、ご意見、あるいは、事務局に確認したいこと等ある方は、挙手をお願いいたします。事務局がマイクをお持ちいたしますので、自席にて、お待ちください。マイクが届きましたならば、お名前を述べてから、ご発言をお願いいたします。

委員長 質疑のある方は、どうぞ。

説明で聞き漏らしたこと、あるいは、ご質問がございましたら、よろしくお願ひします。

ございませんか。

【千倉七浦体育館】

保護者 はい。この資料1の3のところですけども、学校再編の時期とかは、大体いつくらいになるのでしょうか。

委員長 いいですか、教育長。

教育長 少なくとも、今年度、千倉地区で結論が出ましても、両地区合同会議を一年か二年は、必要ではないかというように考えております。

ですから、早くても令和5年度、あるいは令和6年度、その辺りを目途としては、考えておりますけども。

いずれにしましても、地区の皆様方の合意形成があつてからの話ですので、不明な点等、じっくりご説明申し上げる中で、結論を経て、統合への決定がされて

いくことになる、そんな風に考えております。

委員長 よろしいですか。

保護者 分かりました。

委員長 他に、意見でなくても、これは聞いておきたいということがありましたら、せっかくの機会です。

保護者 ちょっと確認したいことがあるのですが。新聞をきちんと読んでいないので、よく分からないのですが、「そもそも白浜中学校の方が、人数が少なくなって千倉中学校と統合したい」という話だと思うのですが。

私は、統合に反対ではないのですが、今回の統合しなければならない話は、対等で統合との話じゃないですか、吸収合併ではなく。

委員長 これは、ちょっと。

教育長 はい。

委員長 教育長、お願いします。

教育長 それでは、私の方からご説明いたします。生徒の人数でいいますと、問題は、白浜地区の方から切実な問題として出ています。

ただ、同じような状況は、説明で申し上げましたように、「数年後には、千倉中学校も同じような問題になります。」ということで、抱える問題は、同じだと思っています。

私どもは今まで、過去、十数年間で色々な小中学校を統合してまいりましたけど、その中では、「対等、吸収とか、そういった表現では、やっております」ので、あくまでも「2校が一緒になるとか、両校が一緒になる」などの表現をしています。

千倉小学校もそうですけども、千倉の小学校4校のうちの1校に吸収するとか、そのような表現はしておりませんし。千倉地区で申し上げれば、千倉の4小学校区の人たちは、そのような思いは残っていないと。

「それぞれ同じ問題を抱えて（児童数が少なくなっている）」、その解決のために、統合したということで、ご理解いただいたと思っております。

それで、今回も同じような話が出ておりますので、同じように、是非、考えていただけたら大変ありがたいと思います。

委員長 よろしいですか。

保護者 はい、ありがとうございます。

【千倉忽戸体育館】

保護者 はい。2点ほど質問があるのですが、「資料1の、オの統合中学校の校舎を、それぞれの現在の中学校のどちらか」とありますが、これはまだ、統合中学校が、千倉地区になるのか、白浜地区になるのか、その辺はまだ決まっていないのでしょうか。

あと、もう1点が、先週に七浦地区で説明会があったと思うのですが、今後、朝夷地区、健田地区と続いていくと思うのですが、その都度の保護者の質疑応答の一覧のようなものを、後日、配布等してもらえないのでしょうか。

年内とか、急いではないのですが、来年度とかでよいので、そういうことを、考えてもらえたらと思います。以上です。

委員長 はい。この2点について、事務局より回答をお願いします。

教育長 まず、1点目についてですが、「統合中学校の位置ですとか、使用する校舎ですとか、そういったものについて」は、今、千倉地区学校再編検討委員会で、千倉地区学校再編に関して、最終的な結論を出そうとしています。

「千倉地区の結論が、統合するという方向の結論として出ましたら」、白浜地区との合同の会議を開いていくことになります。その中で、話し合ってくださいと考えております。

2点目ですが、今、お話がありました、「質疑応答の一覧のようなもの」につきましては、市のホームページ等で、あるいは、保護者の皆様に学校を通して紙ベースのもので、いずれかで、あるいは、両方ということで考えていきたいと思っております。

委員長 よろしいですか。

保護者 ありがとうございます。

【千倉子ども園体育館】

保護者 はい。学校再編は、もうしょうがない。普通は、学校再編をした方がよいのではないかと、自分では思っているのですが、校舎は、どちらかになるということですよ。

千倉中学校へ統合するか、白浜中学校へ統合するか。ということで、私の意見としては、一つだけ、立地条件というか、ここ最近の災害ですね。

何もしがらみがない立場からすると、災害とか天災があったときに、より安全な方がよいのではないかと。そういった視点で、考えていただきたいなど、それが意見です。よろしくをお願いします。

委員長 では、要望ということで受け取ってよいですか。それとも、教育長の方から、何か発言がありますか。

教育長 保護者様からご意見をいただきまして、ありがとうございます。

ただ今のご意見のように、安全性とか、そういったものを含めて、いくつかの観点で、千倉地区、白浜地区合同の会議になりました時点で、私どもの方から、校舎の位置等につきましては、提案させていただきたいと思っております。

ただ今、いただいたご意見は、十分考えてまいりたいと思います。

委員長 よろしいですか。

保護者 はい、ありがとうございます。

【千倉小学校体育館】

保護者 よろしくをお願いします。今この検討委員会の中では、具体的に、「令和何年度に統合しよう」というような、ある程度の見通しがあるのでしょうか、教えてください。

委員長 教育長どうぞ。

教育長 私の方から説明します。具体的に決定的なものはございません。

先ほど申し上げましたとおり、今皆様方からご意見をいただいて、最終的に千倉地区学校再編検討委員会で、「統合するという方針に決まり」ましたら、白浜地区との合同の検討委員会を開くこととなります。

早ければ、今年度内に、千倉地区の方針が決まりまして、令和4年度に合同の会議を開き、事務局からの説明で申し上げましたように、統合中学校の校舎の位置ですとか、校名ですとか、そういうものを合同会議で決定していく訳ですけど、これは、早くても一年はかかるのではないかと思っております。

従いまして、早ければ令和4年度に、そのような内容について結論が出て、他の条件も合意できれば、令和5年度から統合中学校ということになるかと思えますけども、私どもは、それを決定的に考えている訳ではなくて、丁寧にやっていきたいと思っておりますので、令和6年度になるのか、令和7年度になるのか、いずれにしましても、千倉地区学校再編検討委員会の協議を見ながら決めていきたいと思っております。

委員長 よろしいですか。

保護者 ありがとうございます。

委員長 他にございますか。

保護者 要望なのですが、統合することには賛成ですし、早ければ令和5年度というのも、何となく想像がつくので良いのですが、統合した場合、令和5年度の一年生が74名で、この年度は、クラス編制の弾力により、3クラス編制になるのですが、その後2クラス編制になって、一クラス37名のクラス編制になるのだなど見ておりました。

そうすると、自分の子どもを見ていても、中学校生活へ慣れるのに、すごく体力を使う中で、一クラス37名となり、統合しない場合、現在の千倉中学校の子どもたちは、一クラスの27名のクラス編制で中学校生活が送れると思ったときに、先生方が1人、増値配分等で、先生を少し多めに配置していただけるとクラスが37名でも、

学校生活に適応し易いというか、そのようになるのではないかと思ったので、統合されたときには、少しきめ細やかにしていただけると、ありがたいなという、要望です。

委員長 教育長、何か付け加えることはありますか。

教育長 保護者様のご意見、ご心配はごもっともだと思います。

資料2の表を見ていただきますと、千倉中学校の令和4年度の正規の教員数が14人となります。

千倉中学校が統合した場合は、20人となります。令和5年度は、統合しないと14人で、統合した場合は19人となります。

統合した場合については、正規の教員が多く配置されますので、今お話に出た、一クラス37人とか、そういったことにならないように、教育事務所にも千葉県の方にも、色々お願いしますけども、学校の中でも、多く配置された教員の中で、なるべく子どもたちの負担にならないように、特に統合初年度については、一クラスの人数が、極めて少ない人数になるような配慮をしながら、大事に過ごしていけるようにしたいと思っておりますので、ご心配がないといたら、おかしいのですが、今までも、和田中学校と丸山中学校が統合したときも、そのような配慮をしてみりましたので、同じようにやっていきたいと考えております。

委員長 よろしいですか。

保護者 すみません、ありがとうございました。

委員長 はい、他にございますか。

<しばらくの間>

委員長 特にないようでしたら、次第の6、質疑、意見交換を終わりたいと思いますので、よろしいでしょうか。

はい、それでは、どこの説明会会場でも話しておりますが、年が明けて、2月ごろにですね、今度は、保護者の方だけではなくて、一般住民の方々を対象に、この会場で同じような説明会を行う予定でおります。

「今日、言いそびれたなあ、これを質問しておけば良かったな」というような、疑問がございましたならば、年が明けて、2月ごろ開催する予定の一般住民の方々を対象にした説明会に参加して、ご質問をしていただければと思います。

それでは、質疑、意見等が無いようでしたら、進行を事務局の方にお返ししたいと思います。よろしいですか。

はい、それでは、事務局、よろしくお願いします。

進行 ありがとうございました。ただいま、皆様からいただきましたご意見は、今後の検討委員会の協議検討の参考とさせていただきたいと思っております。

また、検討員の中には、PTAの方もいらっしゃいますので、もし、この場で聞くことができなかつたご質問等がございましたら、お伝えしていただければ、今後の会議の中にも出てくると思っておりますので、その辺もお考えいただければと思いますので

よろしくお願ひします。

7 閉会（千倉小学校体育館の会議録より）

進行 それでは、以上をもちまして、千倉地区学校再編に関する、本日の保護者説明会（意見交換会）を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。